

三、金傷手當トシテ金金二十円、舊金二十円ヲ貸與セラレ度イ但シ其返済方法ハ越高ノ申
ラシテ充當スルコト

四、幸不幸ノ場合ハ方ノ如キ臨時仕込ク貸付ラレタイ

五、当事者幸ノ場合三十円、凶不幸ノ場合五十円、凶幸者家族幸不幸ノ場合三十円

六、公傷ノ場合遺棄遺棄費ヲ被主側ニテ負担シ他ニ公傷手當トシテ割一円五十元ヲ支給サレタイ

七、不可抗力ヲ天災地災ニ遭遇シタル場合被主側ニテ被主ノ損害ヲ負担セラレタイ但シ見積額

ハ二割其傷額ノ上決定スルコト

八、私病ノ場合ニ平日通り仕込ク貸與シ病十日以上ニ至ル場合ハ相當ノ見舞金ヲ支給
サレタイ

九、衣帯使用ノ場合差額對シテ金二十元ヲ支給サレタイ

十、兵役ノ場合検査差ニ予備被傷ニ依リサレタル場合金二十円ヲ貸與サレタイ

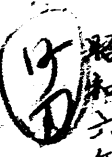
十一、退職手當ノ件制定

以上

6.11.18
2246

勞務第四九七八號

昭和六年十一月十六日



警視總監 高橋 守雄

内務大臣 安達 謙藏 殿
社 會 局 長 官 殿

德國回清店勞働爭議ニ関スル件 (解決)

要旨 其ノ要旨三回トシテ本報ニ登載スル所ニ依リテ本報記者長島場分士助幹長シヨ内務解決ニルカ。綜
件ハ報業員側ニ有利ナリ

標記爭議前報(十一月十日勞務第四九七八號)及十一月十四日
内務解決ニルカ前報ノ状況

一、勞働者側